

お願い

電池のいろいろ

ひと口に電池といっても、用途によってその種類はいろいろです。ここでは、空気電池と同じような使い切りの電池(一次電池)のいくつかをご紹介します。

マンガン乾電池 乾電池といえばこの電池を思い浮かべる、最もポピュラーな電池。時計やおもちゃなどに広く使われ、休み休み使うと電圧が回復。上手に使うと長持ちします。

アルカリ乾電池 マンガン乾電池よりも二酸化マンガンと亜鉛を多量に入れられるため、長寿命。連続して大きな電流を必要とするヘッドホンステレオやストロボなどに最適です。

アルカリボタン電池 酸化銀電池のようにプラス極に高価な物質を使わないため(比較的安価な二酸化マンガンを使用)、経済性に優れ、幅広く採用されています。

酸化銀電池 電圧が安定しているのが大きな特長。寿命がくる直前までほぼ最初の電圧を保つことができるため、カメラの露出計、クォーツ時計など電子機器に使用されています。

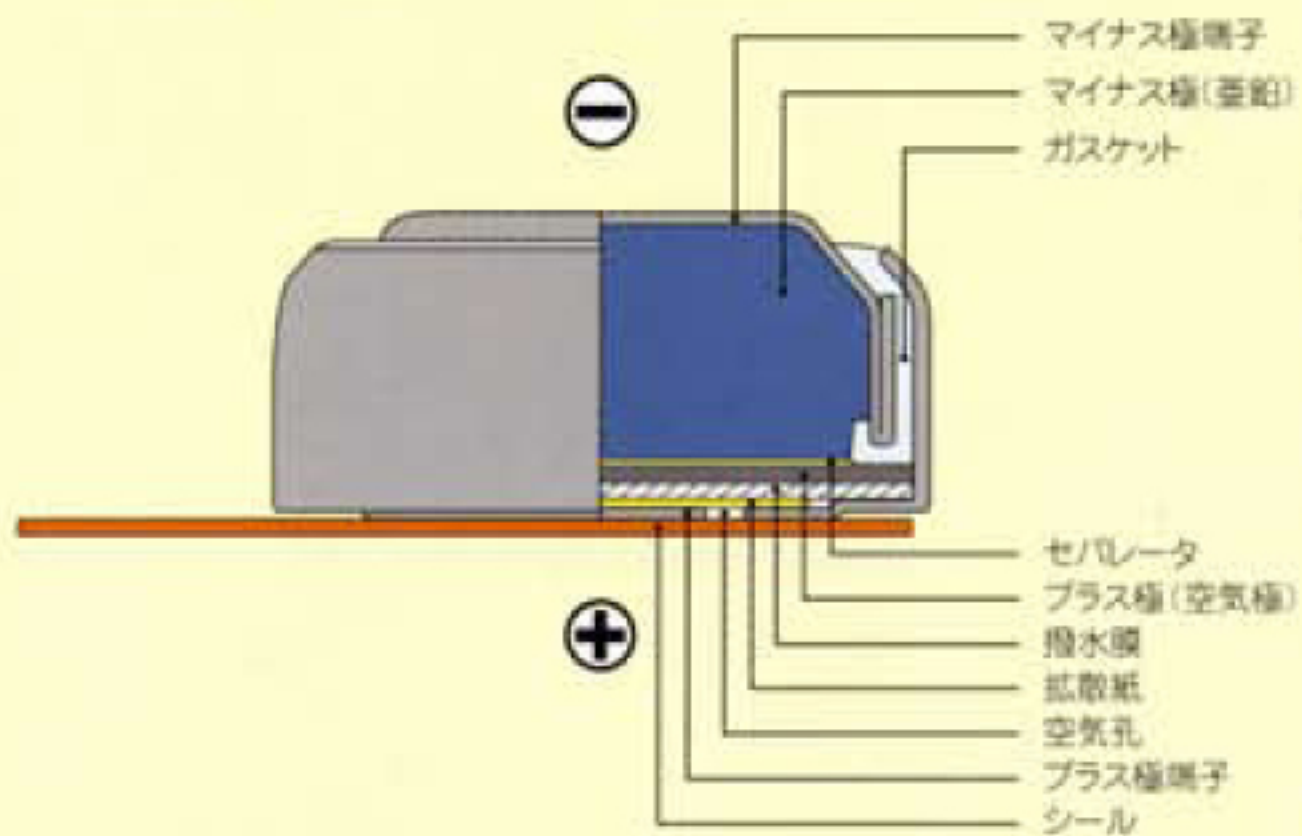
リチウム電池 小型・高電圧・大電流、しかも長寿命の電池です。用途によってさまざまな形状のものを作るため、使用範囲がますます拡大しています。



補聴器用
空気電池の
「知っ得豆知識」

補聴器用
空気電池の構造(発電のしくみ)

空気中の酸素を使用するため、電池のプラス極に空気を取り入れる穴があいています。このため、他の電池に比べて外気の影響を受けやすく、使用上の注意が必要です。



ボタン形電池を安全にお使いいただくためのお願い。

警告 ●電池は、乳幼児の手の届かない所に置く。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。●分解、加熱、火に入れるなどしない。●電池のアルカリ液が目に入った時、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。●電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐうがいをして医師に相談する。●(+) (-)をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しない。●この電池は充電式ではないので、充電すると液洩れ、破裂のおそれがある。

注意 ●(+) (-)を逆に入れない。●新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混用しない。●使い切った電池は、すぐに機器から取り出す。●電池に直接はんだ付けしない。●長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出す。●直射日光・高温・高湿を避けて保管する。●電池を水などで濡らさない。●この電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子部を絶縁する。



社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN
〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5-8
Tel. 03-3434-0261 Fax. 03-3434-2691
<http://www.baj.or.jp/>

ご存知ですか、 補聴器を元気に働かせる 「空気電池」のこと。

「乾電池とか、アルカリ乾電池とかは聞いたことがあるけど、へえ～、空気電池なんて初耳だなあ」。そうおっしゃる方々も多いと思います。実はこの「空気電池(空気亜鉛電池)」は、小型・軽量・大容量、そして省資源の電池として注目され、今や補聴器をはじめ、気象観測用など幅広い分野で活躍しています。

補聴器用 空気電池の主な特徴

- 従来のボタン形電池に比べて**軽量**で、**寿命**が約**2倍**。
- 正極材料として空気中の酸素を使う、画期的な**省資源タイプ**。



！なるほど、知っ得。

空気電池の「知って得する賢い使い方」や、使用前・使用後にご注意いただきたいこと。

◎ご使用前のお願い。

ご使用を始めるまではシールをはがさないでください。シールをはがしたまま長時間放置すると電池の寿命が短くなります。またシールをはがした直後は電池が正常に働きません。シールをはがして約30秒～1分後にご使用ください。



◎長持ちさせるコツ。

補聴器を乾燥ケースに入れる際は、必ず電池をはずしてください。乾燥により電池の寿命が短くなります。また補聴器を使用しない時は電池をはずし、空気孔を下向きにして平板上に置くか、最初に貼ってあったシールで空気孔を密閉してください。*他の粘着テープは不具合の原因になることがあるため使用しないでください。



◎使えなくなったら・・・。

使えなくなった電池はすみやかに補聴器から取り出し、新しい電池と取り替えてください。そのまま放置すると電池がふくれて取り出せなくなったり、電池から液が漏れて機器が故障することがあります。



◎冬場の賢い使い方。

石油ストーブやガスストーブなどを使っていると、発生する二酸化炭素の影響で電池の寿命が短くなります。健康のためにも定期的にお部屋の換気を十分に行ってください。また電池が冷えていると性能を十分に発揮できません。体温で少し暖めてからご使用ください。



◎電池を捨てる時は・・・。

使用済の空気電池は、お買い求めの販売店に設置されている「ボタン電池回収缶」に入れてください。その際、電池がショートするのを防ぐため、電池のプラスとマイナスをセロハンテープなどで絶縁してから、回収缶に入れてください。

